

相次ぐ米兵性犯罪を手がかりに



日米地位協定の 不条理を問う！



飯島滋明さん

名古屋学院大学教授（憲法学・行政法・平和学）安保法制違憲訴訟常任幹事。著書等に『日本軍事入門 Q&A』（吉川弘文館）、『自衛隊の変貌と平和憲法』（現代人文社）『国会審議から防衛論を読み解く』（前田哲男氏と共著、三省堂）など多数



キャサリン・ジェーン・
フィッシャーさん

2019年と2022年、国連人権理事会で日本で起きた性犯罪を挙げ「国連がこれらの人権侵害を調査するよう求める。米軍の免責を断ち切る必要がある」とスピーチ。2020年、2022年、ノーベル平和賞にノミネートされた。

2024

10月10日(木)

18時30分

連合会館 201 会議室

日本国内で起きた日本人が被害者の犯罪で、被疑者の身体確保も通常の取調べもできないのは、日米地位協定がそれを許しているからです。協定の背景には「裁判権放棄密約」があったことが明らかになっています。在日米軍による大きな事故や犯罪は数多く起きているのに、1960年にできた日米地位協定は一度も改定されたことはありません。相次ぐ米兵による性犯罪を手がかりに、日米地位協定の問題点を二人のパネリストを迎えて考えます。

主催 戦争をさせない1000人委員会

【問い合わせ】TEL：03-3526-2920 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 連合会館 1階 平和フォーラム内